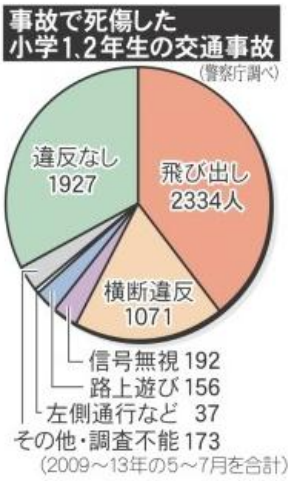
神戸新聞 2014年04月10日 木曜日 面名 タ一 タ4 1ページ

緊張緩む？小学生登下校注意

低学年事故 5月に急増

飛び出し、横断違反突出

小学生が歩行中に死傷した交通事故を警察庁が調べたところ、1、2年生は5月から急増する傾向にあることが分かった。74%は下校時間以後に発生し、飛び出しと横断違反が目立っている。



警察庁は「入学、進級した直後の4月は注意して行動しても、時間がたち緊張が緩む可能性がある」と指摘。「低学年の児童は交通ルールの定着に時間がかかる。親と学校は継続的に教育してほしい」と呼び掛けている。

調査は2009～13年を対象に実施。5年間の死傷者数は1年生が1万640人、2年生は9222人で、学年が低いほど多かった。

月別の総数は、1年生が4月の693人から5月は1031人に急増。6月は1139人、7月も1000人と多かった。2年生は4月が848人で、5月以降は981人、1046人、847人だった。

横ばいの4～6年生と比べ1、2年生の増加が目立つため、5～7月を詳しく分析した。5年間で6044人の1、2年生が死傷しており、事故に遭った時間（土日含む）は午後4～6時が34%で最も多く、2～4時の31%が続いた。6時以降も含めると、74%が2時以降に起きていた。

歩行していた目的は、多い順に下校20%、遊び20%、登校11%、友人や親戚の訪問11%、買い物6%など。

別の事故の巻き添えではない直接の当事者だった1、2年生は5890人おり、67%に当たる3963人に法令違反が認められた。内訳は、飛び出しが2334人、横断歩道のない場所や車が通る直前に渡るなどの「横断違反」が1071人で、この二つが違反の86%を占めた。次に多い信号無視は192人、路上遊びは156人だった。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

学びポイント
・交通ルールについて、普段から先生やお家の方から言われていることは何ですか。
・それはしっかり守れていますか。考えてみましょう。

NIEワークシート／小学生／総合学習、朝NIE、家族でNIE

名前【　　】

①次の（　）内に数字を入れましょう。

低学年の事故は（　　）月に急増する傾向がある。

特に（　　）時から（　　）時の時間帯に多い。

②事故原因となった交通ルール違反を多い順に書きましょう。

（　　）（　　）（　　）